

お鍬山 植物たより (H26. 8. 18)



遊歩道沿いの各所でクサギ（全景 H25.8.15 掲載）の白い花を見ることができます。クサギの名は枝や葉に強い異臭があることからきているようですが、先が5裂した肉厚の白い花は魅力的でもあり、秋には光沢のある藍色の果実と紅色の萼がよく目立ちます。クサギのように不快な名のついた植物は何

故か多くあります。ヘクソカズラもその一つです。漢字では屁糞蔓で草の全体が悪臭をはなつからだそうす。住宅周辺でもよく見かける野草ですが、お鍬山にも自生をしています。白い管状花で果実は黄褐色に熟し、かわいいものです。古名はサオトメバナ（早乙女花）と云っていたために、いまではこの名を使う人がふえたとか。この名では、今度は名前負けしそうな気がします。

南側の遊歩道沿いにはヤマノイモ（ジネンジョ）の花も咲いています。雌雄異株、雄花は上に向いて咲くのに、雌花は下に向いて垂れ下がるように咲いています。南側の遊歩道沿いに多く見かけますが、雄花の方が多いような気がします。繁殖は実だけでなく、根やムカゴからもできるので、雌花が少ない云々は関係ないのかもしれませんが。また、とろろ汁として利用のヤマノイモとは地下にできる長いイモの事で雌雄の別なく成長するようです。通常市販されているナガイモは別種です。その南側遊歩道沿いに10m近くにわたってフユイチゴが自生をしています。白い花を咲かせています。12月ごろに真っ赤な実をつけてくれます。勿論食することができますが、散歩でのアクセントにもなります。

